

官・民の風通しの良い関係で 目指すは地域の活力アップ！

新春
対談
Part2

(株) 御船山観光ホテル 代表取締役

(一財) 武雄市観光協会 理事

小原 嘉久

Kohara Yoshihisa

運営する御船山楽園は、当時 1 万人だった年間入園者数が現在 25 万人までに増加し、国内外からの観光客を惹き付ける。昨年日経プラスワンの「専門家が選ぶ昼も夜も紅葉を楽しめる庭園東西 10 選」で西日本 2 位に選ばれるなど、日覚ましい活躍をみせる。

武雄市議会 議長

杉原 豊喜

Sugihara Toyoki



議長.. 新年明けましておめでとうございます。

今回は武雄を代表する観光名所、御船山楽園を運営されており、観光協会の理事としてもご尽力いただいている小原嘉久さんにお越しいただきました。どうぞよろしくお願いたします。

小原.. 明けましておめでとうございます。この度は対談にお呼びいただき、ありがとうございます。

議長.. 小原さんには武雄の魅力向上の

ためにできることを中心にお伺いしたいと思います。11月まで行われていた御船山楽園の「紅葉まつり」は大盛況だったようですね。ライトアップを始め当初は期間中10000人程度だった入場者が、今では10万人を超えるとか。まさに小原さんのこれまでのご尽力が功を奏しています。この様に多くのお客様を惹き付けるようになるまでどんな努力があったのですか？



独自化で戦わなくてよい領域へ

小原.. 御船山楽園を運営して13年、秋の「紅葉まつり」が今の規模になるまでに10年かかりました。御船山楽園は1845年、武雄領主鍋島茂義公が3年の歳月をかけて造った庭園で、一番のシーズンは春の「花まつり」でした。運営を任された当初は予算もなく自作のプレスリリースを手にも、各メディアに紹介してもらったため奔走しました。「花まつり」が軌道に乗ってからは秋の紅葉のPRにも目を向けました。個人的には昼の庭園を彩る紅葉や湖に映る風景などに魅力を感じていましたが、佐賀には有名な紅葉スポットである九年庵があります。昼の紅葉は九年庵のイメージが強く、昼の紅葉だけで当園に足を運んでもらうのは難しいと感じていました。



そこで当時九州では珍しかった紅葉のライトアップを考え毎年進化することで人気となり、今では来場者も10万人を突破するほどになりました。この取り組みが経済効果という点で少しでも地域のお役に立てていれば幸いです。私が当初より心がけているのは先人、茂義公の想いを受け継ぎつつ、新しい魅力を加えることで独自化し、競合しない領域で価値を生み出すことです。自分一人の力ではなく、行政や多くの方々の協力があったり成し得たと思っています。

費用をかけずに成果を得る

議長.. 昔から「秋の尾園」の愛称で市民に愛され、市民の誇りである庭園だからこそ潜在的な価値を持つのはもちろんですが、ここまで有名になるには、小原さんのPR手法が長けているのも理由でしょう。特にインターネットを活用した情報発信に注力されているようですが、その理由

はありますか？

小原.. インターネット、SNSの口



ミ、情報伝達の効果は絶大だからです。実際に来た人がリアルな感想をインターネットで投稿し発信することで、驚くほどのスピードで拡散していきます。コストもそれほどからず、効果が高い手段として大変有効だと考えます。

議長.. そういった小原さんの努力で全国的にも認知度が上がっている御船山楽園ですが、武雄市には武雄温泉、武雄焼や武雄市図書館などその他の魅力もたくさんあります。観光協会の理事という観点からこれらの観光資源と連携した取り組みなどもお考えですか？

小原.. それぞれのスポットごとに魅力や強みがあると思いますが、それらを新たな組み合わせで提案する必要が我认为あります。例えば宇宙科学館との連携で夏の新たな体験プログラムの提案も

できるでしょう。

官民の連携、風通しの良い関係を

議長.. ぜひ小原さんが先頭に立って取り組みを進めてください。最後に武雄市全体として発展を続けるために、行政と民間の連携について何かお考えですか？

小原.. 街のことを自分のこととして喜び、誇りに思うために、それぞれの人が当事者意識を持って関わり、行政がサポートすることで武雄の魅力向上に繋がるのではないかと思います。例えば御船山楽園では一昨年、市の支援を受けて世界初の水面プロジェクトクシヨンを行いましたが、昨年は降はこのイベントを自力で継続することで、将来の交流人口増、経済効果の増大を目指しています。御船山楽園だけでなく、個々の市民が武雄に愛着を持ち、行政と連携しながら自分ができることに挑戦する機運が高まると武雄市全体で発展していくでしょう。行政にはその取り組みを後押しする風通しの良い関係性を築いて欲しいです。